

한통련 뉴스레터

제77호

発行:在日韓国民主統一連合（韓統連）

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。（メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください）

정세 情勢

●尹大統領「三・一節」演説で「韓日はパートナー」…屈辱外交の尹政権を総選挙で審判しよう！



3・1運動105周年自主平和大会

尹大統領「三・一節」演説

尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領は3月1日、ソウル市内の柳寛順（ユ・グァンスン）記念館で開かれた独立運動記念日「三・一節」の記念式典で演説し、「韓日両国はつらい過去を乗り越え、『新しい世界』に向かって共に進んでいる」と述べた。

尹大統領は、日本による植民地支配に抵抗して1919年3月1日に発表された「独立宣言書」について、「日本に対し、われわれの独立が両国ともに豊かに暮らす道であり、理解と共感に基づき新しい世界を開こうと求めた」と説明した。

また、韓日関係について「自由、人権、法治の価値を共有し、共同の利益を追求し、世界の平和と繁栄のために協力するパートナーになった」と強調した。

さらに、北朝鮮（※正しくは朝鮮）の核

とミサイルの脅威に対する韓日両国の安全保障協力がさらに強固になったとして、「来年の韓日国交正常化60周年を機に、より生産的で建設的な両国関係へと飛躍することを期待する」と述べた。

民主党「独立運動の精神を冒とく」

第一野党「共に民主党」のアン・グイリョン報道担当は、尹大統領の演説は独立運動の精神に対する冒とくと非難。また尹大統領が独島の領有権を主張する日本に再び求愛のメッセージを送ったとし、「不意打ちばかりの日本政府に送る尹大統領の求愛は恥ずかしい」と批判した。

一方、与党「国民の力」の朴正河（パク・ジョンハ）首席報道担当は論評で「韓国が進むべき未来の道と韓日関係の飛躍を提示した」と評価した。

市民社会団体「3・1自主平和大会」開催

6・15共同宣言実践南側委員会と全国民衆行動、全国非常時局会議、平和統一市民会議、韓日歴史正義平和行動などの市民社会団体は1日、ソウル・光化門で「屈辱外交・戦争助長 尹政権審判！ 3・1運動105周年自主平和大会」を開催。

大会では「屈辱外交・戦争助長の尹政権を審判」に加えて、△尹政権審判で3・1運動の民族自主・独立運動精神を継承△歴史正義・主権・平和の守護を掲げ、△「第三者弁済方式」による韓日関係改善を拒否

する△自衛隊の朝鮮半島への進出と韓米日軍事同盟の構築に反対する△「力による平和」「自由の北進政策」を拒否する△戦争を引き起こす韓米戦争演習と対北ビラ散布に反対することを内容とする自主平和宣言文を発表した。

尹政権を総選挙で審判しよう！

1919年3月1日を期して朝鮮全土で始まった3・1朝鮮独立運動は、日本の植民地支配に対する朝鮮民族の根底からの反抗であり、民族の自主と祖国の独立を求めた朝鮮近代史上、最大の反日独立運動である。

●【記事紹介】野党の比例連合政党「共に民主連合」結党…「今回の総選挙に国の命運がかかっている」



「共に民主連合」結党大会に参加した代表ら

「共に民主党」と進歩党、新進歩連合の3野党と市民社会団体の連合政治市民会議は3月3日、国会で比例連合政党「共に民主連合」を結党した。3野党と市民社会団体による「尹錫悦(ユン・ソンニョル)政権審判!」のための比例連合政党が発足した。民衆の声(3月3日)から紹介する。

「共に民主党」と進歩党、新進歩連合、市民社会陣営が集まった比例連合政党「共に民主連合」が3日、結党された。

結党大会はこの日午後、国会議員会館で開かれた。民主党のユン・ヨンドク議員と総選挙関係者のペク・スンア前教師が共同代表に選出された。

共に民主党の李在明(イ・ジェミョン)代表は祝辞で「国民のより良い生活、この国の希望と未来のために意を共にするみんな

朝鮮を植民地統治した日本は当然、誤った歴史の清算をしなければならない。しかし、3・1朝鮮独立運動から100年以上が過ぎたいまも、それは未完である。日本政府は過去の過ちを決して認めようとせず、誠実に謝罪することも一切ない。

そして尹政権は屈辱外交の展開で日本政府に免罪符を与えることに忙しい。韓国政府が率先して構築する「良好な韓日関係」は、米国政府にとって韓米日軍事協力強化のための必要条件である。

対日屈辱外交を繰り広げる尹政権を4月総選挙で厳しく審判しなければならない。

なが手を取り合う出発点が、まさに共に民主連合のスタート」「この国の命運がかかった今回の総選挙で必ず勝たなければならない」と述べた。

李代表は「世の中の変化を望み退行に賛成しないすべての国民、すべての勢力が力を合わせなければならない」「さらなる退行を許してはならないとするわたしたちの使命感は、まさにみんなが力を合わせてこそ可能で、そうしてこそ責任を果たせる」と強調した。

進歩党のユン・ヒスク代表は「尹錫悦政権の暴政がわたしたちに連合政治をつくらせた」「全国的規模の候補一本化と政策連帯を通じ、大統領拒否権に崩されない国会、民主と進歩の価値が生きる第22代国会をつくる連帯が今日から始まる」と明らかにした。

また「進歩党は10万党員の3分の2が非正規職労働者である進歩政党」「労働者の生存権を守るためには、尹錫悦政権を必ず審判しなければならない。その切実な思いから連合政治を決断した」と述べた。

新進歩連合のヨン・ヘイン代表は「みんな共に手を取り合ったのは、尹錫悦政権審判のために、さらに大きく確実に勝利するための選択であり決断」「国民の血と汗で築いてきた民主主義を壊す政権に立ち向か

い、大韓民国の民主主義を立て直す総選挙をつくり出そう」と述べた。

市民社会側ではイム・ホニョン民族問題研究所長が祝辞を述べた。イム所長は「いままでの民主党は進歩連合を考えなかった。しかし李代表が今回それを成し遂げた」「歴代民主党が成すべきことであった

し、すべての国民が望んだ夢」と強調した。

一方、共に民主連合の比例代表候補は進歩党3人、新進歩連合3人、各界の市民社会人士が集まった連合政治市民会議の「国民推薦」候補4人、民主党20人の計30人で構成される予定。

활동보고 活動報告

●韓青が冬期講習会を開催…「民族的に生きる」ことを共有



参加者で記念撮影

在日韓国青年同盟（韓青）は2月23日から25日にかけて、京都府内で第59回韓青全国冬期講習会「コリアンユースフェスティバル2024」を開催した。全国から同胞青年が集まり、民族文化体験や班別討論などのプログラムを通じて「民族的に生きる」ことを深めた。

一日目は宇治市にある「ウトロ平和祈念館」を訪問し、講演や展示資料の解説を受

け、ウトロと在日同胞の歴史について学習。

二日目は民族文化体験として昼食に「統一ピビンパづくり」を実施。レシピを頼りに班で協力してナムルを作り、朝鮮半島の形にしたご飯の上にナムルを盛り付け、統一ピビンパを完成させた。参加者からは「おいしかったし、一体感を感じた」といった感想が聞かれた。午後はテコンドー体験とスポーツ大会を実施。その後「地方本部アピールタイム」として、各地方本部の取り組みを紹介。地域ごとに特色のある報告がなされた。

三日目は韓成祐（ハン・ソンウ）中央委員長が講演。韓国総選挙や朝鮮半島情勢について学習した。

閉会式では参加者から「班別討論で様々な意見を聞いて自分を見直すきっかけになった」「全国の仲間から元気をもらうことができた。今後も韓青活動に参加したい」といった感想が出された。

●全労協、春闘集会を開催…キム・ウニョン氏が講演



講演するキム・ウニョン氏

全国労働組合連絡協議会（全労協）は2月23日、都内で「2・23全労協24春闘集会」を開催した。

渡邊洋議長は「講演を通じて労働運動における日韓間の共通点と差異点を学び、春闘勝利のかてとしよう」と主催者あいさつした。

民主労総慶南地域本部長のキム・ウニョン氏が「韓国労働運動の現状と課題」について講演。キム氏は「組織の現状・202

3年闘争の概括」を報告した上で、「国際情勢と朝鮮半島」「政治情勢」「経済・生活の危機」「労働情勢」それぞれに民主労総の課題を示しながら、「活動の基調と目標」として△尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権を退陣させ、韓国社会体制転換の転機をつくる△総選挙で尹錫悦政権を審判し、労働者政治勢力化の飛躍を実現する△すべ

ての労働者の労働権を勝ち取るために闘う△社会の公共性を強化し、民衆の生存権を保障する△時代の変化、大衆の要求を反映した運動戦略を打ち立て、民主労総を革新するをあげた。

講演後は質疑応答、関口広行事務局長によるまとめの発言と進行し、「団結がんばろう」の唱和で集会は終了した。

●都内で3.1独立運動105周年記念集会開催…キム・ヨンファン氏が報告



報告するキム・ヨンファン 対外協力室長

2月25日、都内で「戦争反対！日米韓軍事同盟化を許さない！植民地主義を精算し平和な東アジアを！3.1朝鮮独立運動105周年2.25東京集会」が開催された。主催は「3.1朝鮮独立運動」日本ネットワーク。

映像上映と主催者あいさつ後、同志社大学の板垣竜太教授が「いまこそ植民地支配責任を問う」と題し講演。3.1朝鮮独立運動を振り返ったうえで、「戦後日本の中で植民地支配責任が欠落したことにより、レイシズムと植民地支配肯定論が繋がり、現在の『嫌韓』につながった」と指摘。△人種差別基本条約の国内法制定△日朝国交

正常化の実現を歴史問題解決に向けての課題としてあげた。

韓国から訪日した民族問題研究所の金英丸（キム・ヨンファン）対外協力室長が「日米軍事同盟化の現状と韓国民衆の闘い」と題し報告。韓国の尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権について「文在寅（ムン・ジェイン）政権の成果を全て否定し、韓米日軍事協力など危険な動きを継続している」と指摘。歴史問題については「強制動員被害者（元徴用工）に対する大法院（最高裁）判決を韓国政府が第三者弁済案によって否定した。これに対して被害者遺族はいまでも抗議し、闘っている」と強調。

「過去清算を勝ち取らないと平和は来ない。これからも一緒に闘っていこう」と語った。

実行委員会から集会宣言の朗読。△朝鮮戦争の終結と平和協定締結△歴史を直視し、大軍拡に反対などが呼びかけられ、会場の拍手で採択された。

3月1日には新宿駅南口で「3.1キャンドル行動」を開催。関東大震災朝鮮人中国人虐殺、日本軍「慰安婦」、元徴用工裁判、沖縄基地、韓米日軍事同盟化などをテーマに各団体がアピールした。

●「韓国オプティカルハイテック労組を支援する会」月例行動を展開

日東電工の100%子会社である「韓国オプティカルハイテック」（亀尾市）では、2022年10月の工場棟火災を口実に工場の廃業・解雇が行われ、現在、11人の組合員が代替生産中の「日東オプティカル」（平澤市）への雇用継承を求めている。

今年1月8日からは労組員2人が建屋屋上で籠城に突入、「勝利するまで決して降りない」と争議の解決を訴えている。2月16日には会社側の要請により労組事務所と工場が強制撤去されようとしたが、結集した労働者市民700人がバリケードを

築き、これを阻止した。

1月25日に都内で結成された「韓国オプティカルハイテック労組を支援する会（支援する会）」では、毎月第4月曜日にJR品川駅前での宣伝活動と日東電工東京本社への抗議申し入れ行動を展開している。2月27日の月例行動には韓統連の宋世一（ソン・セイル）委員長が参加し、申し入れ行動にも同行した。会社側は面談も要請文の受け取りも拒否するという強硬姿勢に終始し、支援する会は要請文の朗読を通じて雇用継承を強く求めた。

一方、民主労総は23日、ソウル市内で「2024年 闘争宣布大会」を開催し、韓国オプティカルハイテック工場の前でも大会を同時開催し連帯した。



強制撤去を阻止する労働者市民

●米国大使館前で韓米合同軍事演習に抗議…韓成祐韓青委員長がアピール



米国大使館にむけて抗議する韓成祐委員長（左）と宋世一委員長

3月4日より開始される韓米合同軍事演習に反対する米大使館前抗議行動が2月29日に行われ、韓統連・韓青も参加した。主催は「資本主義を超える新しい時代を拓く反戦実行委員会」。

実行委の尾澤孝司氏が主催者あいさつ。「今年の軍事演習は昨年よりより実戦的になっており、非常に危険なものだ。軍事演習によって日米韓の軍事同盟はどんどん強化されていく。アジアを戦場にしないため、わたしたちの力で危険な軍事演習を止めよう」と語った。

韓国からキム・ウニョン民主労総慶南地域本部長がオンラインで連帯あいさつ。

「韓米合同軍事演習は陸海空すべての領域において行われ、もはやいつ戦争が起こってもおかしくない。朝鮮半島の平和を脅かす米国を強く糾弾し、米国を支える尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権を退陣させる闘いを力強く進めていく。すべての人々が平和に暮らすことができる世界を、ともにつくっていこう」と呼びかけた。

韓青中央本部の韓成祐（ハン・ソンウ）委員長がアピール。韓委員長は「現在、朝鮮半島はいつ核戦争が起こってもおかしくない極度の緊張状態にある。こういった状況は、朝鮮を敵視しつづけた韓米当局に責任がある。韓国国民を戦争の危機に陥れる尹大統領に大統領の資格はない。在日同胞青年の立場から、韓米合同軍事演習中止、尹錫悦政権退陣を訴えていく」と強調した。

最後に参加者全体で米国大使館にむけて力強くシュプレヒコールを行い、合同軍事演習中止を要求した。

●「韓米合同軍事演習反対！ 韓統連全国代表者会議」を開催



軍事演習反対を訴える参加者たち

韓統連は3月3日、名古屋市内で「韓米合同軍事演習反対！ 韓統連全国代表者会議」を開催した。

宋世一（ソン・セイル）委員長が主催者あいさつ。「明日から韓米合同軍事演習『フリーダムシールド』が強行される。昨年は年間250回から260回もの演習が実施され、朝鮮半島の軍事緊張が高まり続けている。朝鮮半島の軍事緊張はもはや、核戦争も想定した軍事緊張に到達していると言わざるを得ない」「尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権は対米追従、対北対決姿勢を強めており、自由民主主義による吸収統一を口にしてはばからない。軍事演習を破綻させることは朝鮮半島の平和に繋がっていく。全力で合同軍事演習に反対していこう」と語った。

会員団体、地方本部の有志から決意表明。在日韓国青年同盟（韓青）中央本部の韓成祐（ハン・ソンウ）委員長は「私たちの祖国が極限の戦争危機の中、韓米合同軍事演習が強行されることに怒りを禁じ得ない」「韓国国内では現在、弾劾か平和かというスローガンが掲げられている。韓青は国内と連帯し、在日韓国人青年の立場から、韓米合同軍事演習中止、韓米日軍事同盟反対、尹錫悦政権弾劾を訴えていく。困

難な状況だからこそ、一層力強く祖国の自主的平和統一を訴えていきたい」と主張した。

韓統連広島本部の尹康彦（ユン・ガンオン）代表委員は「米国は朝鮮、中国、ロシアをインド太平洋地域での軍事的脅威と規定しており、米国に追従する韓国は、南北対話ではなく南北対決を激化させている」

「韓米日、米日でも軍事演習が行われており、米国の戦略爆撃機を先頭に、韓日の戦闘機が編隊を組んで空軍演習をしている有様だ。軍事演習は戦争を引き起こす脅威であり、引き金だ。韓米合同軍事演習を中止させ、韓米日軍事同盟に反対し、朝鮮半島の非核化を実現しよう」と強調した。

金昌五（キム・チャンオ）副委員長が決議文を朗読。△韓米合同軍事演習の中止△米国の対北敵視政策の放棄△尹錫悦政権の対米追従・対北対決政策の破棄△朝鮮半島の平和実現による自主統一の実現の4項目を決議し、全体の拍手で採択した。

金隆司（キム・ユンサ）副委員長が閉会あいさつ。「今回の軍事演習はこれまでよりも質量ともに格段の違いがあり、本当に危機的な状況だ。日本の自衛隊も全面的に軍事演習に入ってきており、韓米日軍事同盟が、朝鮮半島の危機をすさまじい勢いで高めている」「朝鮮半島の平和のためには朝鮮戦争を終結させなければならない。これからも平和の理念と哲学をもって、揺るがずに確信をもって、朝鮮半島の平和統一のために共に闘っていこう」と語った。

参加者全体で「韓米戦争演習を中止せよ！」とのメッセージを掲げプラカード・アピールを实践。合同演習中止を力強く訴えた。

代表者会議は下記の韓国インターネットメディアに掲載されました

統一ニュース

<https://www.tonginews.com/news/articleView.html?idxno=210162>

自主時報

<http://www.jajusibo.com/64451>

決議文

韓国政府関係者は2月5日、今年前半期の韓米合同軍事演習「自由の盾（フリーダム・シールド）」を3月4日から14日まで11日間実施するとし、「同演習はコンピューターシミュレーションを利用し進行される」「北の核・ミサイルを含む軍事的挑発シナリオを想定し合同防衛態勢を点検する予定」と明らかにした。

「コンピューターシミュレーションを利用し進行される」としながら、「自由の盾」合同演習では師団級合同上陸演習と20余の合同野外機動演習を過去の「フォール・イーグル」合同演習の水準で行う計画であり、韓米海兵隊が参加する合同上陸訓練を手始めに、合同攻撃ヘリ射撃訓練、合同海上哨戒訓練などを進行するという。

「北の崩壊」を目標とする米国の持続的で執拗な対北敵視政策による朝鮮半島における戦争政策は現在、△国連軍司令部を米軍主導の多国籍軍として実動化させることによるアジア版NATOの構築△今年8月に予定される米軍主導「核協議グループ」が主管する対北核戦争演習の実施△米国戦略資産の朝鮮半島への頻繁な配備△韓米日軍事同盟化による軍事協力の強化などに、具体的にあらわれている。

「自由の北進政策を進める」（キム・ヨンホ統一部長官）に象徴されるように自由民主主義体制に基づく「吸収統一」に固執する尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権は、米国の対北敵視政策に全的に追従しながら、自らも対北対決策動に全力をあげている。すでに9・19南北軍事合意が海上も含めて事実上、破棄されたといってもよい状況で、南北関係は交戦状態にある国境で対峙する敵対的な国家関係へと転じてしまい、朝鮮半島は核戦争も想定される一触即発の軍事緊張状態に置かれている。

朝鮮は合同軍事演習を「北侵戦争演習」と規定しており、2月28日、韓米合同軍事演習と米国戦略資産の朝鮮半島への配備を取り上げ、「もし戦争の導火線に火がつく場合、われわれの無慈悲な征伐の目標になる」と警告した。

国際社会は米国の一極支配からグローバルサウスが中心となる多極化構造へと転換し、それに伴い米国による「戦争と支配と搾取」は否定され、「平和と共同繁栄、主権の相互尊重」を重視する新しい時代を迎えている。米国は同盟国・友邦国を総動員することで、自らの覇権と一極化を維持するのに懸命となっている。しかし、多極化と自主化の新しい流れは大勢となり、だれも逆らうことはできない。米国は対北敵視政策を放棄し、韓国は対米追従・対北対決政策を破棄することを強く求める。

朝鮮半島の平和実現は韓米の戦争策動を破綻させることから始まる。戦争策動の代表的なものがまさに合同軍事演習である。わたしたちは朝鮮半島を戦争の危機に陥れる合同軍事演習の中止を強く訴える。韓米は戦争を挑発する合同軍事演習を直ちに中止しなければならない。

決議事項

1. 韓米合同軍事演習を直ちに中止しろ！
1. 米国は対北敵視政策を放棄しろ！
1. 尹錫悦政権は対米追従・対北対決政策を破棄しろ！
1. 朝鮮半島の平和を実現し自主統一への道を切り開こう！

2024年3月3日

韓米合同軍事演習反対！ 韓統連全国代表者会議
参加者一同

第22代 韓国国会議員総選挙 在外投票案内



2024年4月10日に実施される第22代韓国国会議員総選挙に、在日同胞も投票できます。初めて投票する方は事前に選挙人登録が必要ですので、期限内に各地の韓国領事館で登録してください。

在外選挙人登録申請期間 2024年2月10日まで
投票期間 2024年3月27日～4月1日まで

手続きの詳細は在外選挙 中央選挙管理委員会ホームページでご確認ください
<https://www.nec.go.kr/site/abroadja/main.do#>

選挙案内ピラを作成しました。下記からダウンロードできますので、ぜひご活用ください
<https://chuo.korea-htr.org/plan/1820/>

행사예정 行事予定

3月

尹錫悦政権弾劾集会(東京)

日時: 3月9日(土) 午後5時30分 場所: 京成上野駅前 主催: 東京民主実践連帯 連絡先: 090-4298-6113 (李)

韓国総選挙を考える集い(神奈川)

日時: 3月10日(日) 午後1時45分開場、2時開始 場所: ミューザ川崎 内容: 総選挙情勢講演(講師: 李俊一(イ・チュニル) 事務長) 主催: 韓統連神奈川本部 連絡先: 090-1049-4261 (文)

在日コリアン青年 平和統一全国アクション(東京)

日時: 3月24日(日) 午後1時30分開場 場所: 都内 主催: 在日韓国青年同盟 連絡先: 03-4400-5331 (韓)

2024韓国総選挙を考える集い(大阪)

日時: 3月24日(日) 午後1時30分受付、2時開会 場所: KCC会館 内容: 講演「韓国国会議員選挙と私たちの課題」(講師: 金昌五(キム・チャンオ) 韓統連大阪本部副代表委員) 参加費: 800円(青年・学生500円) 主催: 韓統連大阪本部 連絡先: 090-3822-5723 (崔)

4月

「連帯の夕べ」(大阪)

日時: 4月21日(日) 午後4時受付、4時30分開会 場所: KCC会館 内容: 第1部 記念講演(講師: 宋世一(ソン・セイル) 委員長) 第2部 懇親会 参加費: 4000円 主催: 韓統連大阪本部 連絡先: 090-3822-5723 (崔)

第27回統一マダン神戸イベント

日時: 4月27日(土) 午後6時30分開場、7時開始 場所: 兵庫区区民センター 内容: 情勢講演(講師: 宋世一(ソン・セイル) 委員長) 主催: 同実行委員会 連絡先: 090-5016-6352 (崔)

編集後記 3・1独立運動105周年を迎えました。105年たっても民族の独立が道半ば、という現状に憤りを感じます。米国の支配と干渉をはねのけ、韓国に自主的民主政府を樹立させることが平和統一への道だということをあらためて実感します(李)